

# 西洋ウメモドキの効率的な挿し木増殖法

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

部門名 花き－その他の花木－ 採種・繁殖

担当者 鈴木安和・鈴木宏和・矢島豊・高田真美

## I 新技術の解説

### 1 要旨

西洋ウメモドキは、秋から冬にかけての実物として需要が多く、露地で栽培が可能であるため、須賀川地域を中心に導入が進んでいる。また、従来のウメモドキと比べて、実が大きく落ちにくいいため、新たな需要拡大も見込まれる。しかし、出荷枝は二年枝以上であるため、安定した出荷には作付面積の拡大が必要である。現在、現地で行われている取り木より増殖効率の高い挿し木増殖法を開発した。

- (1) 挿し木の時期(挿し木の採取時期)は、当年枝の伸長が止まり止葉が見られた時期である 8 月挿し木が良く、発根率は 74.1%を確保できる(図 1)。
- (2) 上記の苗を露地圃場に定植したところ、定植一年目では活着率が 100%で欠株がなく、増殖率が最も高いのは 8 月挿し木である(表 1)。

#### <挿し木の条件>

- (1) 挿し穂調整 採穂は止葉発生後の当年枝のシュートを利用し、収穫後萎れないようによく水揚げをする。その後、約 10cm 毎の長さに切断し、挿し穂 1 本あたり葉 2 枚程度に調整し、水道水でよく水揚げをする。
- (2) 小粒の鹿沼土を充填した育苗コンテナに挿し木を行う。挿し木直前に、オキシベロン液剤を挿し穂基部浸漬する。
- (3) 育苗方法は、発根するまで黒寒冷紗で日よけをしながら行う。かん水は適宜行い、挿し穂の乾燥に注意する。
- (4) 発根した苗はハウス内で越冬後、4 月以降に定植する。

### 2 期待される効果

西洋ウメモドキを効率よく増殖することができる。

### 3 適用範囲

福島県内における西洋ウメモドキの生産を拡大しようとする産地

### 4 普及上の留意点

種苗法等により増殖に制限がある品種は育成者と協議する。

## Ⅱ 具体的データ等

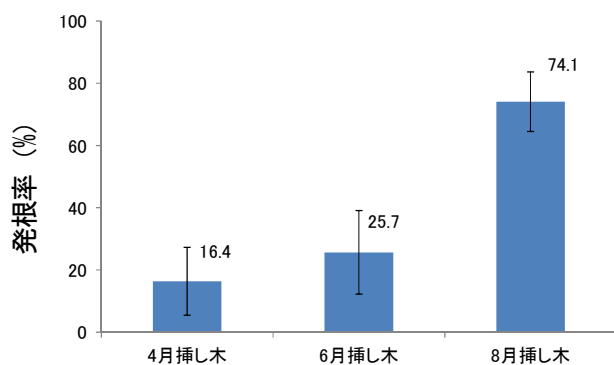


図1 西洋ウメモドキの挿し木時期による発根率の違い

注) 平均値 (n=6) ±標準偏差

表1 西洋ウメモドキにおける1本のシュートからの増殖率

試験区	採穂数 (本)	発根率 (%)	定植後の 活着率 (%)	増殖した 本数 (本)
4月挿し木	5.5	16.4	91	0.8
6月挿し木	4.5	25.7	100	1.2
8月挿し木	5.3	74.1	100	3.9
(参考)取り木	—	—	100	1.0

増殖した数＝採穂数×挿し木の発根率×定植後の活着率

定植時期は4、6月挿し木は10月、8月挿し木は翌年の4月とした。

## Ⅲ その他

### 1 執筆者

鈴木安和

### 2 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成22年度～25年度
- (2) 研究課題名 地域の特色のある花き生産技術の確立

### 3 主な参考文献・資料

- (1) 平成22年度～25年度センター試験成績概要